

高知大学総合情報センター広報誌 OWL

あうる

♪ VOICE OF THE FOREST



No.2

—2009.10—

読書の秋・図書館の秋



- P.1 知ってる?グループ学習室!
- P.3 高知大生に薦めるこの一冊
- P.5 CiNii (サイニイ) で雑誌論文をさがそう
- P.6 特別資料展のおしらせ(予告)
中学生が職場体験学習にきてくれました!
- P.7 めでいもりだより



知ってる?グループ学習室!

図書館というひとりで机に向かって静かに黙々と勉強というイメージがありますが、実はみんなで集まって学習することもできるのです。総合情報センター各館にはグループ学習室があって、集団での学習をサポートしています。各館、多少利用方法が異なりますが、ゼミの準備や勉強会などにどんどん利用してください。

メディアの森(中央館)の グループ学習室を 借りるには?



1



1F総合案内前にみんなで集合!
3人以上集まれば借りることができます。

学生は予約が
できないので
注意してね!



START!

6



お疲れさま~

総合案内へ鍵と注意書きを
返却して終わりです。
お疲れさまでした。

5

忘れ物がない
か確認!



部屋に鍵をかけてください。

知っているようで意外と知られていない図書館のサービスや施設。
図書館は本を借りるだけじゃない!図書館をもっと有効に活用する
ための情報をお届けします。
その中から今回はグループ学習室を紹介します。

医学部分館



2室あります。受付カウンターにある利用簿
に記入、鍵を借ります。予約も可能です。

農学部分館



事務室にて申請書に記入し、鍵を借ります。
1週間以内なら予約も可能です。



カウンターで手続きするときに3人以上
集まってないとダメなので注意しよう!

2



利用時間は2時間。
他に利用者がなければ
延長可能!



申請書に記入。鍵と注意書きをもらって、
いざグループ学習室へ

3



4



利用が終わったら次のグループのために
きれいに後片付けて電気を消します。

学習開始!

冷暖房が入っている時に、
グループ学習室で消さない
ようにしてね。



マナーを守って利用しましょう!



もちろん
飲食禁止



騒いだり、大声での議論
はやめてね



表紙の人

第1号につづき、図書館で働いている学生スタッフの3名に
協力してもらいました。

(写真左から)

小島 春香さん(理学部自然環境科学科)

高田 宜子さん(人文学部人間文化学科)

宮川 優希さん(教育学部生涯教育課程)



[三人から一言]

私達が、皆様のご利用をサポートします。分からない事が
あれば、お気軽に窓口までおこしください。

「オノマトペがあるから日本語は楽しい—擬音語・擬態語の豊かな世界」

小野正弘 (平凡社)

「ダズーン」という表現をめぐる考察から始まる本書は、日本語の特徴の一つにあげられる、オノマトペ (擬音語・擬態語) 研究への肩の凝らない入門書と言えるでしょう。

生活の中のオノマトペからその歴史まで、たった一語で事態を記述してしまう、オノマトペの不思議な力とその魅力について考えることの楽しさを実感させてくれる本です。

学問の基礎には、かならず「ことば」について考えることが含まれます。日本語において非常によく発達したオノマトペ表現について考えてみることは、言語感覚を磨いたり、ことばと文化の関係を考えたりする上でとても大切なことでしょう。

(人文学部教員 加藤 勉)



「図説 世界の地域問題」

漆原和子・藤塚吉浩・松山洋・大西宏治編 (ナカニシヤ出版)

高知という地名はなぜ高知なのか。シカのない宿毛市沖の島にはなぜ鹿垣があるのか。アパルトヘイト後の南アフリカの都市には平和が戻ったのか。アメリカ合衆国に肥満者が多いのは経済的な豊さの象徴なのか。気温が3度上昇すると南極大陸の氷はとけるのか。身近な地域から世界の各地まで、自然現象と人間活動にかかわる様々な地域問題を扱っている本書は、これらの問いに答えてくれるので、ぜひ手に取って読んでみましょう。

(教育学部教員 藤塚吉浩)

「笑うカイチュウ 寄生虫博士奮闘記」

藤田紘一郎 (講談社)

いつもイヌやネコ、人間のフンを集め、そこから採取した寄生虫を眺めてうっとりしているようなちょっと変わった寄生虫学者が自らの体験談を元にしたエッセーです。「花粉症やアレルギーは寄生虫で防ぐ」「ダイエットにカイチュウが役立つ」といった気になる話題が専門知識のない人にもわかるように書いてあるのでスラスラ読めます。カイチュウって何? と思った方には是非読んでもらいたい一冊です。この本を読むと、これまで寄生虫が気持ち悪いと思っていた方でも愛着が湧くかもしれません。

(大学院農学専攻2年 仲本健二)

「きけ わだつみのこえ—日本戦没学生の手記—」

日本戦没学生記念会編 (岩波書店)

人は他者の人生を生きることが出来ないし、その哀しみへの理解も、共有することも、結局は想像の範疇でしかないのかもしれませんが、でも、だからこそ、いろいろな本を読み心に触れる想いを積み重ねて、想像力を深めていくことが必要ではないでしょうか。戦争を知らない世代が増えています。この手記は戦没学生が書いた家族への手紙や日記を集めて発行されました。「戦争」という名のもとに、勉学の中断・人生の中断を余儀なくされた学生たちの声が、記されています。以前、読んだことのある方もいるかもしれませんが、年代により感じることも違いますので、ぜひまた改めて手にとって彼らの心情に寄り添ってみてはいかがでしょうか。

(図書館職員 澤田明美)

本好きの皆さんが
お薦めの本を
選んでくれました。

薦めるこの一冊



OPAC
どの館
でいま

秋の夜長をどう過ごす？
食欲の秋？
それとも読書の秋？

「日本語が亡びるとき—英語の世紀の中で」

水村美苗（筑摩書房）

理学の世界では英語が「普遍語」として圧倒的な優位を占め、日本語の旗色は冴えない。より正確には、英語以外はすべて「現地語」で、「現地語」で書かれた論文はいくら素晴らしい内容でも、当たり前のように無視をされる。筆者水村は似たような状況があらゆる分野で進行していると述べる。であるならば、「意味のある言葉」を日本語で紡ぎだす必然はあるのか。日本語はその輝きを失い、「亡びる」のか。答えを知りたい方はこの本を手にとってみてください。この筆者の本は（『私小説』などの小説を含む）、非常に力強い日本語で書かれています。私の好きな作家です。

（理学部教員 佐々木邦夫）

「タンパク質の一生：生命活動の舞台裏」

永田和宏（岩波書店）

命とは何か。生きているということはどういうことなのか。普遍的な問いかけである。本書は直接的にその答えを与えているわけではない。しかし、タンパク質という誰でも知っている物質に関する最新の情報を、人の一生になぞらえてわかりやすく解説することで、この問いかけに対する答えの手がかりを与えている。また、現役の研究者である著者自身が体験した研究課題を解明する際の、期待と興奮を共有することができる。これから本格的に研究を志す学生はもちろん、一般の学生でも、自分自身（生命）の深遠を知ることができ、ヒトを含めた生き物に対する深い畏敬の念を持つことができる。嗜読を薦めたい。

（農学部教員 八木年晴）

「言い訳の教科書」

諸岡雪舟（データハウス）

人類の歴史は言い訳によって形成されたと言っても過言ではない。戦争において、国家は言い訳によって正義を名乗り、英雄は言い訳によって自己の行為を正当化し、英雄となり得た。そういった大げさな例に限らず、我々普通の人間も、生きていれば、須く修羅場や絶望の場を経験するであろう。例えば、重要な会議に遅刻してしまったり、妻や恋人の名前を呼び間違えたりなどといった光景は誰もが日常的に経験するはずだ。この本は、そうした苦しい場面を、巧みな言い訳によって、いかに乗り切ればよいか、基本編と応用編に分けて、詳しく解説してくれている。推薦図書としてこの本を推したが、この本の内容が広く世間に、特に女性に広まらないことを私は願ってやまない。

（医学部医学科4年 高村祥吾）

「日本古代文学入門」

三浦佑之（幻冬舎）

古代文学と言われても、いつの時代の話?と思われるかもしれません。この本で取り上げられているのは古事記・日本書紀・万葉集・出雲国風土記などです。高校生の時に古典の授業でちらっと出てくる程度で、難しそうと思われるかも知れません。日本書紀は歴史書ですが、浦島太郎の原話なるものも載っていますし、播磨国風土記にはナンセンスな笑い話も載っています。この本はそれらを分かりやすく解説してくれています。千年以上も昔の話ですが、そうとは思えないくらいの話のバリエーションがあり驚きます。難しそうと敬遠せずに、日本の古典文学の世界に触れてみませんか？

（図書館職員 芝 知子）



で探してみよう。
からも取り寄せが
す。

高知大生に

CiNii (サイニィ) で 雑誌論文をさがそう

CiNiiは国内の雑誌論文を検索するデータベースです。一般に学術的な研究成果は論文という形で雑誌に掲載されるので、雑誌に載っている論文は図書と同様に学習や研究のために非常に**有用な情報**になります。雑誌論文はOPACでは検索できないので、論文情報が検索できるCiNiiのようなデータベースを利用して探します。CiNiiでは、検索結果から論文本文へリンクされているものもありたいへん便利です。

① CiNii トップページ

<http://ci.nii.ac.jp/>
 ※各図書館ホームページにリンクがあります。





使い方は簡単!キーワードを入力し、「論文検索」ボタンをクリック

下の選択ボタンで取り敢えず本文が見られる論文だけ探すことも可能!

② 検索結果一覧

論文名をクリックすると詳細表示画面に変わります

③ 詳細表示画面

- ① 論文名・著者名・著者所属
- ② 連携サービスへのリンク
 -  CiNiiにある本文PDFへのリンク
論文本文が読めます
 -  Webcat Plusへのリンク
他機関の所蔵が調べられます
 -  高知大学電子リソース検索へのリンク
電子ジャーナルの有無が調べられます
 -  高知大学OPAC
高知大学での冊子の有無が調べられます
- ③ 抄録(論文の要約)
- ④ 雑誌名、巻、号、ページ
- ⑤ 論文本文がある場合は1ページ目がプレビューされます
- ⑥ 論文に付与されているキーワード

キーワードを追加するとさらに絞り込んだ検索ができます

総合情報センター(図書館) 特別資料展のお知らせ (予告)

図書館の蔵書の中から貴重な資料を展示して学内外に公開します。今回はジョン万次郎が作成した日本で初めての英会話本「英米対話捷徑(しょうけい)」や中国思想史コレクションである小島文庫から唐時代の「五経正義」写本の一部など数点、また高知大学の前身である旧制高知高等学校の卒業生で、戦後B級戦犯として処刑された木村久夫さんの旧蔵書(木村文庫)を展示・紹介します。



「高知にゆかりの先人たち ジョン万次郎、小島祐馬、木村久夫」

日時:11月9日(月)～11月15日(日) 9:00～21:00
(※最終日15日は16:00まで)
場所:高知大学朝倉キャンパス
高知大学メディアの森1F 展示コーナー



ジョン万次郎著「英米対話捷徑」

□ 小島文庫って? □

中央館に所蔵する文庫名です。高知県出身の中国哲学研究者、小島祐馬(おじますけま)博士の蔵書を本学図書館が譲り受けました。博士は京都大学人文科学研究所所長などを務められた方で、その蔵書は中国思想史を核に広く中国学研究に関する文献を和漢洋にわたって視野広く体系的に集められたものです。その他、フランス社会経済思想史上の重要著作群などもあり、その価値の高さは博士の抜群の見識を示すものです。

□ 木村久夫さんって? □

旧制高知高出身の学徒兵の方です。京都帝大入学後に応召。インド洋カーニコバル島での島民処刑事件で通訳をつとめたため責任を問われ、イギリス軍の軍事裁判をうけ、昭和21年5月23日シンガポールで刑死されました。享年28歳。愛読書の余白にのこした手記が、23年に旧制高知高時代の師塩尻公明の「或る遺書について」で紹介され有名になります。その手記は「さけわだつみのこえ」の最後に収められており、いまでも多くの人々の心を打ちます。手記のなかでの遺言のとおり、その蔵書は本学図書館に寄贈されました。

中学生が職場体験学習にきてくれました!

5月18日(月)～22日(金)の5日間、今年も朝倉中学校の2年生3名が職場体験学習を行いました。なれない仕事にとまどいながらも、カウンター業務や図書・雑誌の受け入れ、文献複写など図書館の仕事に真面目に取り組みました。体力勝負の書架整理も元気にこなしてくれました。

体験学習に参加した生徒さんからは
「図書館は貸し出した本をもとの場所に戻すだけの仕事だと思っていた」
「本棚に並ぶまでに、たくさんの手続きがあるなんて知りませんでした。私たちの手に渡るまでの道のりは大変だと思いました」
「本の整理は大変でつかれましたが、やりとげた時はうれしかったです」
などの感想が聞かれました。

この体験学習を通じて社会や、自分の将来などについて少しでもなにか感じてもらえればうれしいですね。





中央館〈朝倉キャンパス〉卒論特別貸出についてのお知らせ

中央館〈朝倉キャンパス〉のみのサービスですが、卒論作成のための特別貸出として、通常貸出（5冊2週間）とは別に、長期貸出（5冊60日間）ができます。論文提出学年（4年、院2年）が対象で、1階総合案内で申請書をもらい、論文指導教員に承認印をもらってから、申請してください。（窓口サービスグループ）

聞蔵Ⅱビジュアル（朝日新聞記事データベース）の「昭和（戦前）紙面データベース」トライアルのお知らせ

ご利用中の聞蔵Ⅱビジュアルに2010年4月から明治・大正・昭和（戦前）の紙面データが追加されます。今回は昭和（戦前）分のトライアルです。

期間：10月1日（木）～11月30日（月）

* 学内LANにて、ご自由にご利用いただけます。図書館のHPからどうぞ。（学術情報サービスグループ）

「日経BP記事検索サービス 大学版」トライアルのお知らせ

「日経ビジネス」「日経パソコン」など、日経BP社が発行している幅広い分野の専門雑誌約40誌の記事がオンライン上で閲覧できる検索データベースです。業界動向やIT用語辞典・パソコン講座なども利用できます。

期間：10月1日（木）～11月30日（月）

* 学内LANにて、ご自由にご利用いただけます。図書館のHPからどうぞ。（学術情報サービスグループ）

ものべ学生選書会

農学部分館では書店より借受した図書を表示しての選書会を10月下旬に開催を予定しています。日程等は図書館HPや掲示でお知らせします。（農学部分館サービスグループ）

秋の図書館ガイダンスのお知らせ

10～11月にかけて、中央館と農学部分館では図書館ガイダンスを予定しています。「CiNii」等を利用した雑誌論文検索から、検索した論文の入手方法などを職員がわかりやすくご案内します。開催日程は図書館HPや掲示でお知らせします。

*オンデマンドガイダンス

ゼミやグループ等でガイダンスをご希望の場合は日程や内容もご希望にあわせたガイダンスを行います。随時受け付けていますので、ぜひご活用ください。

ガイダンスのお問い合わせ：学術情報サービスグループ kg07@kochi-u.ac.jp（中央館）
 医学部分館サービスグループ kg05@kochi-u.ac.jp（医学部分館）
 農学部分館サービスグループ kg06@kochi-u.ac.jp（農学部分館）

編 | 集 | 後 | 記 |

「あうる」第2号をお届けします。新入生歓迎の第1号発行から半年、もっと皆さんに図書館を活用していただくために、人気のあるグループ学習室の紹介をメインに、文献の検索に役立つデータベース「CiNii」の利用方法などの情報を掲載しました。

読書の秋、勉強の秋、図書館の秋、メディアの森を散策しませんか？

あうる No.2（2009年10月発行）

〔編集・発行〕

高知大学総合情報センター（図書館）

〒780-8520 高知市曙町2-5-1

Tel.088-844-8731 Fax.088-844-8161

U R L : <http://www.lib.kochi-u.ac.jp/>

E-mail : lib@kochi-u.ac.jp